



派遣の病院・都市・姉妹 報告成果が4人研修医

高山の姉妹都市のアメリカ・デンバー市にあるコロラド大学病院に派遣されていた研修医四人が十六日、市役所で國島市長らに成果を報告した。

この派遣事業は高山・デンバー友好協会（小林浩会長）が医療分野でも交流を深めようと、平成二十五年から実施しているもの。

今年度は高山日赤病院の杉朋幸さん（26）と熊谷信利さん（27）、大

村一史さん（26）、久美愛厚生病院の森聡史さん（28）が昨年七月～十一月に二週間ずつ派遣され、脳神経外科や胸部外科、救急科などの現場を体験した。

報告会で四人はスライドを使って医療現場の様子などを紹介しながら「外科医は手術と周術期管理のみで、術前術後の化学療法や診察は内科医とかかりつけ医が担当するなど、業務内容を分業しているのが日本と違って印象的でした」「この研修を今後の診療に生かしていきたいです」などと話していた。

【上写真】前列右から森さん、杉さん、熊谷さん、大村さん。